

問1 明治時代の貿易に関する統計において、原料の輸入から製品の生産・輸出へと至る流れに注目すると、1890年に国内生産量が輸入量を上回り、さらに1897年には輸出量が輸入量を上回るという劇的な転換を見せた品目として正しいものを次の中から選びなさい。（2025年 秋田公立入試 類似）

1. 紡績業によって生産される綿糸 2. 八幡製鉄所で生産される鋼鉄 3. 長崎造船所などで建造される軍艦 4. 化学工業によって生産される肥料

問2 1870年頃の日本の貿易において、生糸や茶は主要な輸出品でした。群馬県などの内陸部で生産された生糸を海外へ輸出するための最大の拠点となり、幕末の開港以降、日本の近代化を支える貿易港として発展した都市はどこですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 横浜 2. 神戸 3. 長崎 4. 新潟

問3 1901年に操業を開始した官営八幡製鉄所が、福岡県八幡村（現在の北九州市）に建設された理由として最も適切なものはどれか。（2023年 岩手県公立入試 類似）

1. 原料となる鉄鉱石の多くを中国からの輸入に頼っており、地理的に近い場所が有利だったため。 2. 原料となる鉄鉱石が九州地方で豊富に採れたため、産地に近い場所が選ばれたため。 3. 主な燃料である石油をアメリカから輸入するため、大型船が寄港しやすい太平洋側が適していたため。 4. 製品の主な輸出先が欧米諸国であったため、横浜港や神戸港に近い場所が求められたため。

問4 明治初期、西洋文化の流入とともに文学の世界でも新しい動きが見られました。坪内逍遙が『小説神髓』で提唱した「写実主義」の考え方を実践し、言文一致の文体で『浮雲』を著した二葉亭四迷について、その執筆の目的や背景として最も適切な説明を選択してください。（2022年 愛媛公立入試 類似）

1. 人間の内面や現実の姿を、話し言葉に近い自然な文体で表現しようとした。 2. 明治政府の正当性を主張するために、天皇中心の歴史物語を編纂しようとした。 3. 欧米諸国の憲法を日本語に翻訳し、法整備の重要性を国民に伝えようとした。 4. 古文の美しさを再評価し、平安時代の雅な言葉遣いを復活させようとした。

問5 20世紀初頭のアジアにおける民族運動の背景として、孫文が提唱した「三民主義」の目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 茨城県公立入試 類似）

1. 民族の独立を守り、清の専制政治を倒して近代的な国民国家を建設すること 2. 第二次世界大戦後の植民地支配からの脱却を目指し、アジア・アフリカ会議を主導すること 3. 冷戦下における核兵器の使用に反対し、第五福竜丸事件をきっかけとした平和運動を推進すること 4. 欧米列強の進出に対して、伝統的な皇帝政治の権威をさらに強化して対抗すること

問6 明治時代、板垣退助らが「民撰議院設立建白書」を提出したことで本格化した、国会の開設や憲法の制定などを求める全国的な政治運動を何といいますか。（2018年 長野県公立入試 類似）

1. 自由民権運動 2. 士族の反乱 3. 新生活運動 4. 大正デモクラシー

問7 1853年の開国以降、日本は急速な近代化を目指しました。明治政府がフランスの技術を導入して設立した官営模範工場で、後に世界遺産にも登録された施設の名称を選択してください。（2022年 鳥取公立入試 類似）

1. 八幡製鉄所 2. 富岡製糸場 3. 三菱長崎造船所 4. 芝浦製作所

問8 明治時代、栃木県の渡良瀬川流域で発生した日本初の本格的な公害事件において、衆議院議員として国会で政府の責任を厳しく追及し、のちに議員を辞職して明治天皇への直訴を試みるなど、被害住民の救済に生涯を捧げた政治家は誰ですか。（2019年 大阪公立入試 類似）

1. 田中正造 2. 原敬 3. 井上馨 4. 板垣退助

問9 明治時代、足尾銅山から流出した有害物質が渡良瀬川周辺の農地や人々に甚大な被害を及ぼした「足尾銅山鉛毒事件」において、被災した農民の窮状を救うために衆議院議員を辞職し、明治天皇に直接訴え（直訴）を行おうとした人物は誰ですか。（2018年 岐阜公立入試 類似）

1. 田中正造 2. 板垣退助 3. 大隈重信 4. 渋沢栄一

答え合わせ・解説

問1	答え 1 紡績業によって生産される綿糸	日本の産業革命は、まず紡績業などの軽工業から始まりました。1880年代後半から機械制生産が本格化したことで、原料の綿花を輸入し、製品である綿糸を輸出するという「加工貿易」の形が整いました。これにより、明治30年（1897年）には綿糸の輸出額が輸入額を上回る輸出超過となりました。一方、製鉄業などの重工業が本格的に発展するのは日露戦争前後となります。
問2	答え 1 横浜	幕末の1859年に開港した横浜は、背後に有力な生糸の産地である北関東や信州を控えていたため、明治時代を通じて生糸の最大輸出港として繁栄しました。当時の統計資料においても、生糸は茶と並んで日本の輸出額の大部分を占める重要な品目であったことが示されています。
問3	答え 1 原料となる鉄鉱石の多くを中国からの輸入に頼っており、地理的に近い場所が有利だったため。	官営八幡製鉄所は、日清戦争で清から得た賠償金をもとに建設されました。当時の日本は鉄鋼の原料となる鉄鉱石を中国の大冶（ターイ工）鉄山などからの輸入に大きく依存していたため、中国大陸に近い地理的条件が重視されました。また、燃料となる石炭を供給する筑豊炭田が近隣にあったことも、この地が選ばれた重要な理由です。
問4	答え 1 人間の内面や現実の姿を、話し言葉に近い自然な文体で表現しようとした。	それまでの書き言葉（文語体）は日常会話とは大きくかけ離れており、複雑な心理描写には不向きでした。二葉亭四迷は、ロシア文学などの翻訳を通じて学んだ手法を活かし、等身大の人間を描くために話し言葉（口語体）を基盤とした新しい文章表現を確立しました。これが後の日本文学における表現の土台となりました。
問5	答え 1 民族の独立を守り、清の専制政治を倒して近代的な国民国家を建設すること	孫文は、列強の侵略にさらされていた中国を救うために、民族の独立（民族）、民主的な政治の実現（民権）、国民生活の安定（民生）の3つを基本理念としました。これは、単に支配者を変えるだけでなく、社会の仕組みそのものを近代化しようとする先進的な考え方でした。
問6	答え 1 自由民権運動	1874年に板垣退助らが政府に提出した建白書によって、国民の選んだ議員による議会の設置を求める声が高まりました。政府は当初、言論の弾圧などでこれに対抗しましたが、運動の広がりを受けて1881年に「国会開設の勅諭」を出し、10年後の国会開設を約束することとなりました。
問7	答え 2 富岡製糸場	1872年、明治政府は殖産興業の一環として群馬県に富岡製糸場を設立しました。フランスから技師や機械を招き、全国から集まった工女たちに技術を習得させることで、日本全体の製糸技術の向上を図りました。八幡製鉄所は日清戦争後の下関条約による賠償金をもとに建設された鉄鋼工場であり、設立時期や目的が異なります。
問8	答え 1 田中正造	足尾銅山鉱毒事件では、鉱山から流出した有害物質により渡良瀬川の魚が死滅し、流域の農地に深刻な被害が出ました。栃木県出身の田中正造は、帝国議会でこの問題を追及し続けましたが、政府の対応が不十分であったため、1901年に議員を辞職してまで明治天皇に直接訴えるという行動に出ました。これは当時の社会に大きな衝撃を与え、公害問題が世に知れ渡る契機となりました。
問9	答え 1 田中正造	足尾銅山鉱毒事件は日本初の本格的な公害問題とされています。栃木県出身の衆議院議員であった田中正造は、国会で厳しく政府の責任を追及しましたが、事態が改善されなかったため、議員を辞職して天皇への直訴という命がけの行動を通じて世論に訴えかけました。